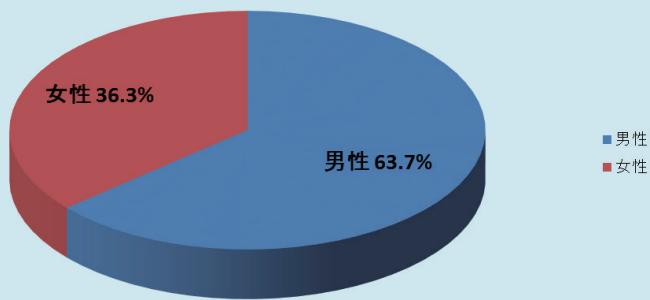
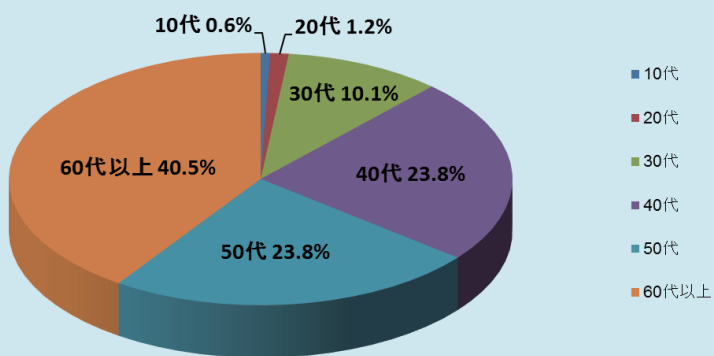


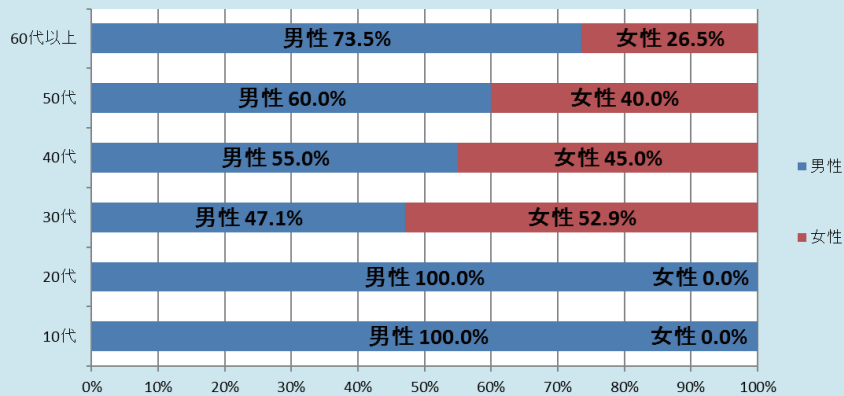
【回答者詳細】 対象者数： 266名 回答者数：168名 回答率：63.2%



人数		
男性	63.7%	107
女性	36.3%	61
計	100%	168



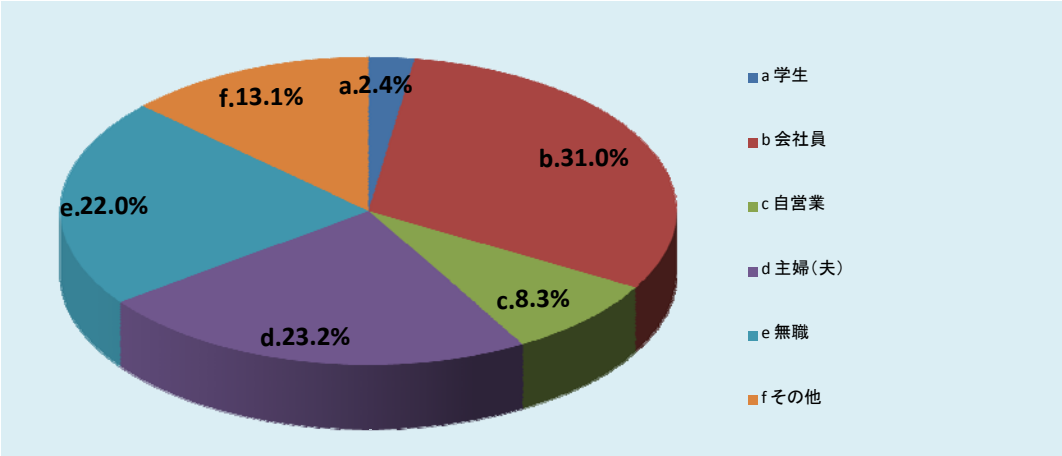
人数		
10代	0.6%	1
20代	1.2%	2
30代	10.1%	17
40代	23.8%	40
50代	23.8%	40
60代以上	40.5%	68
計	100%	168



	男性	女性	男性人数	女性人数	小計
10代	100.0%	0.0%	1	0	1
20代	100.0%	0.0%	2	0	2
30代	47.1%	52.9%	8	9	17
40代	55.0%	45.0%	22	18	40
50代	60.0%	40.0%	24	16	40
60代以上	73.5%	26.5%	50	18	68
合計	63.69%	36.3%	107	61	168

【全ての方にお尋ねします】

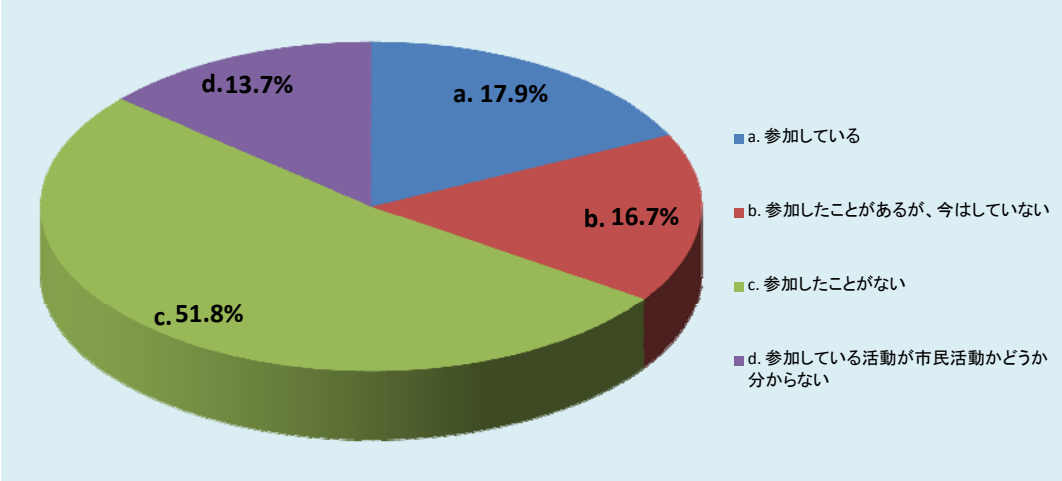
問3 あなたの職業について、次の中から当てはまるものを1つお選びください。



	人数
a 学生	4
b 会社員	52
c 自営業	14
d 主婦(夫)	39
e 無職	37
f その他	22
計	168

【全ての方にお尋ねします】

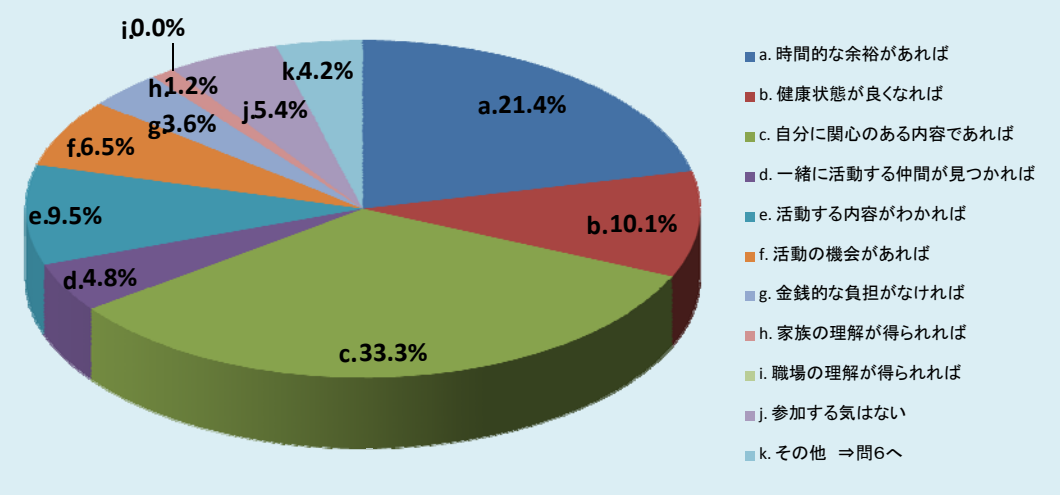
問4 あなたは、現在、自主的な市民活動に参加していますか。次の中から当てはまるものを1つお選びください。



	人数
a. 参加している	30
b. 参加したことがあるが、今はしていない	28
c. 参加したことがない	87
d. 参加している活動が市民活動かどうか分からない	23
計	168

【全ての方にお尋ねします】

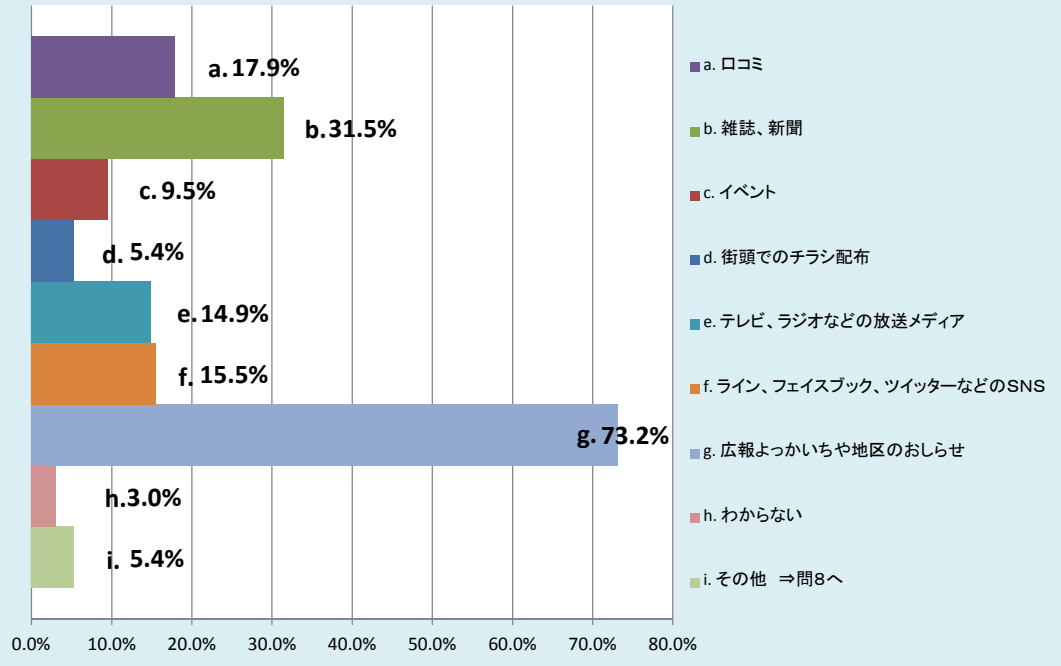
問5 今後、市民活動に参加するためには、何が必要となりますか。次の中から最も当てはまるものを1つお選びください。



	人数
a. 時間的な余裕があれば	36
b. 健康状態が良くなれば	17
c. 自分に関心のある内容であれば	56
d. 一緒に活動する仲間が見つければ	8
e. 活動する内容がわかれば	16
f. 活動の機会があれば	11
g. 金銭的な負担がなければ	6
h. 家族の理解が得られれば	2
i. 職場の理解が得られれば	0
j. 参加する気はない	9
k. その他 ⇒問6へ	7
計	168

【全ての方におたずねします】

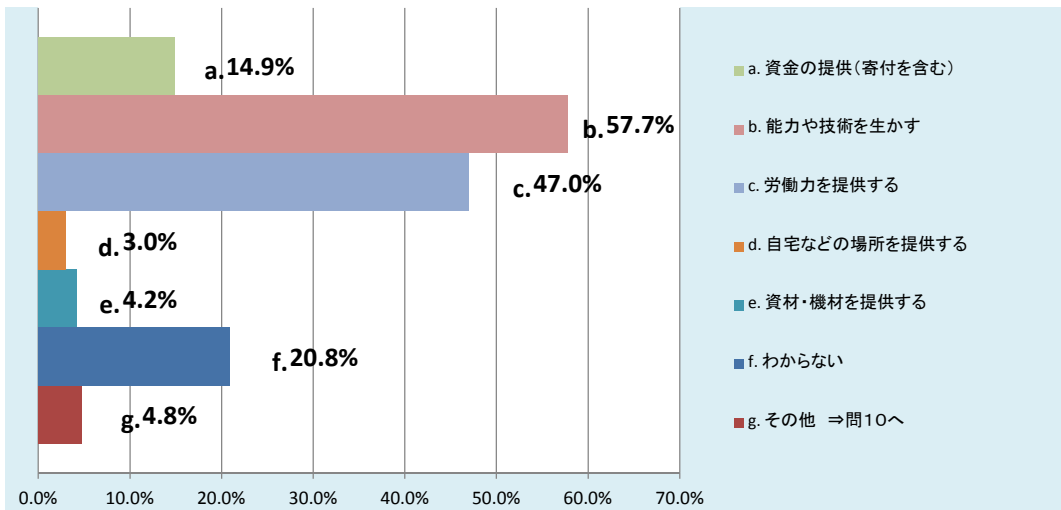
問7 あなたが市民活動の情報を得るとしたら、どんな方法で入手できると良いですか。次の中から当てはまるものを2つまでお選びください。



	人数
a. 口コミ	17.9% 30
b. 雑誌、新聞	31.5% 53
c. イベント	9.5% 16
d. 街頭でのチラシ配布	5.4% 9
e. テレビ、ラジオなどの放送メディア	14.9% 25
f. ライン、フェイスブック、ツイッターなどのSNS	15.5% 26
g. 広報よっかいちや地区のおしらせ	73.2% 123
h. わからない	3.0% 5
i. その他 ⇒問8へ	5.4% 9

【全ての方におたずねします】

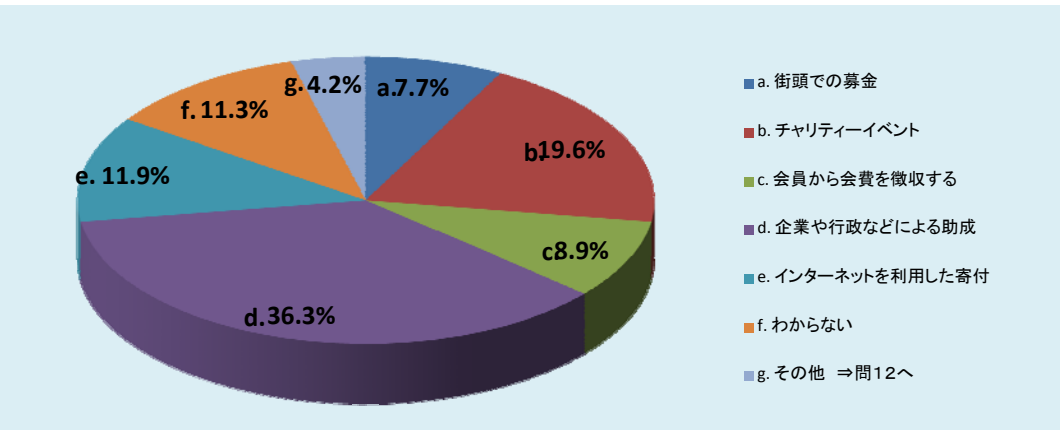
問9 どのような参加方法なら、市民活動に参加しやすいですか。次の中から当てはまるものを2つまでお選びください。



	人数
a. 資金の提供(寄付を含む)	14.9% 25
b. 能力や技術を生かす	57.7% 97
c. 労働力を提供する	47.0% 79
d. 自宅などの場所を提供する	3.0% 5
e. 資材・機材を提供する	4.2% 7
f. わからない	20.8% 35
g. その他 ⇒問10へ	4.8% 8

【全ての方にお尋ねします】

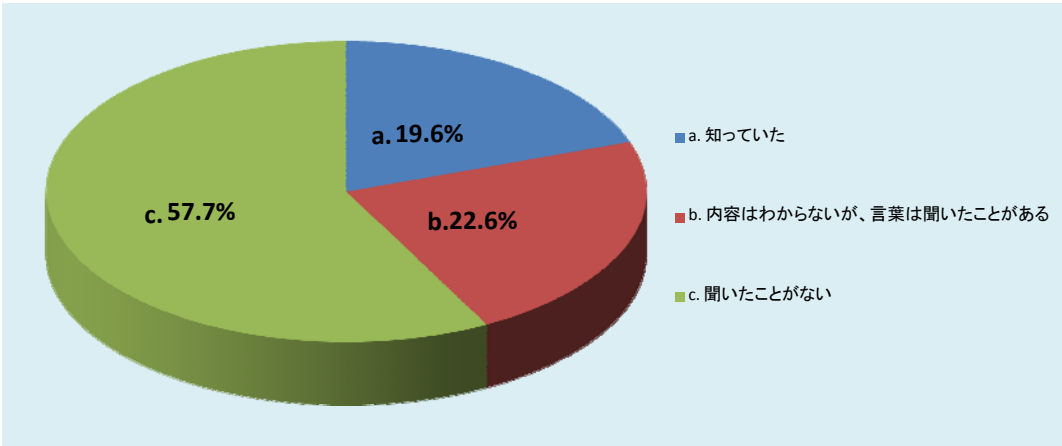
問11 市民活動を行うには、多くの場合、活動資金を集める必要があります。どのような方法が有効だと思いますか。次の中から最も当てはまるものを1つお選びください。



	人数
a. 街頭での募金	7.7% 13
b. チャリティーイベント	19.6% 33
c. 会員から会費を徴収する	8.9% 15
d. 企業や行政などによる助成	36.3% 61
e. インターネットを利用した寄付	11.9% 20
f. わからない	11.3% 19
g. その他 ⇒問12へ	4.2% 7
計	100% 168

【全ての方にお尋ねします】

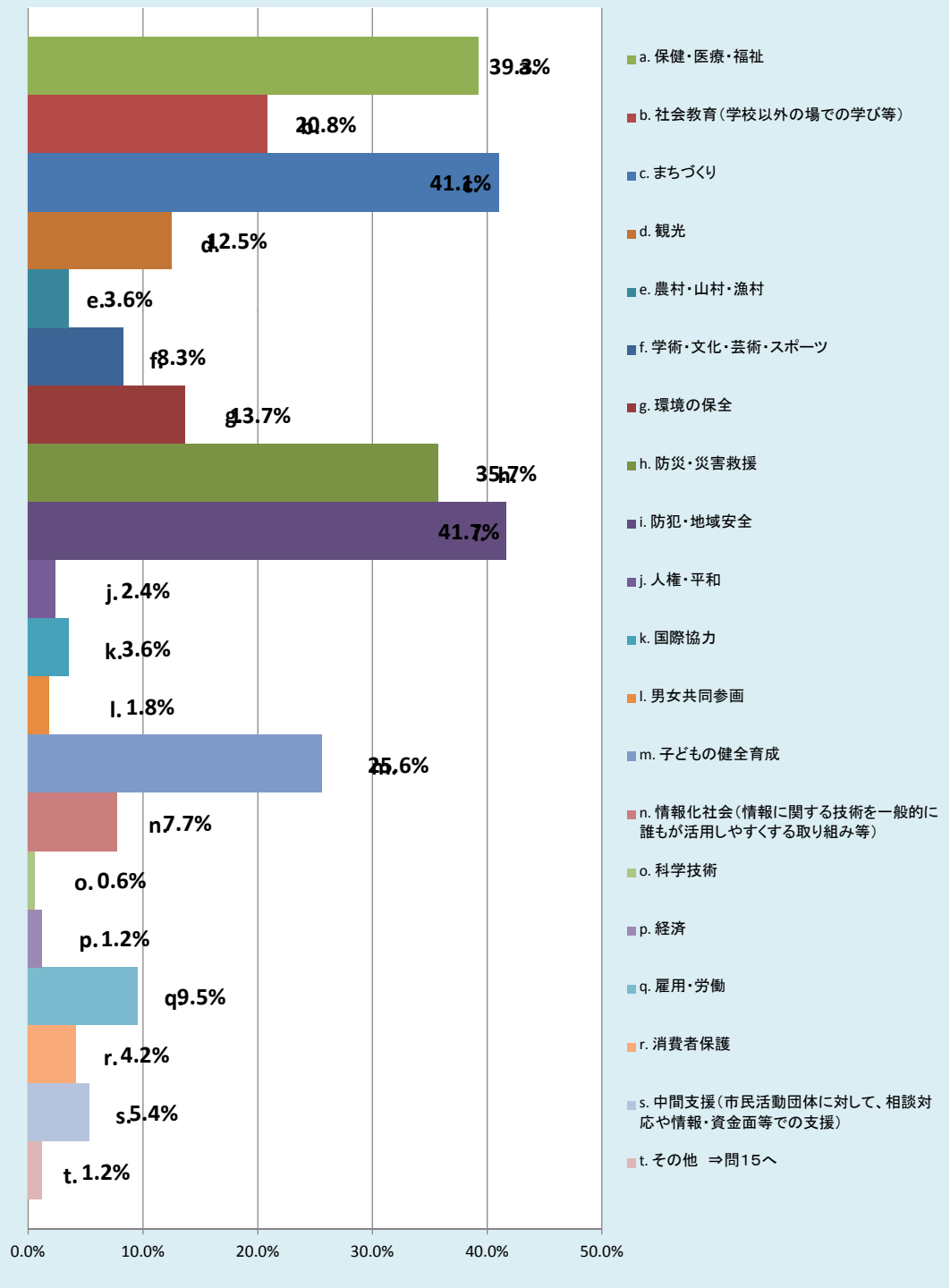
問13 市民協働促進条例では、市民協働とは「市民等、市民活動団体、議会、事業者及び市等が連携し、それぞれの持つ特性を活かしてまちづくりに取り組むこと」としています。あなたは、この「市民協働」をご存じでしたか。次の中から当てはまるものを1つお選びください。



	人数
a. 知っていた	19.6% 33
b. 内容はわからないが、言葉は聞いたことがある	22.6% 38
c. 聞いたことがない	57.7% 97
計	100.0% 168

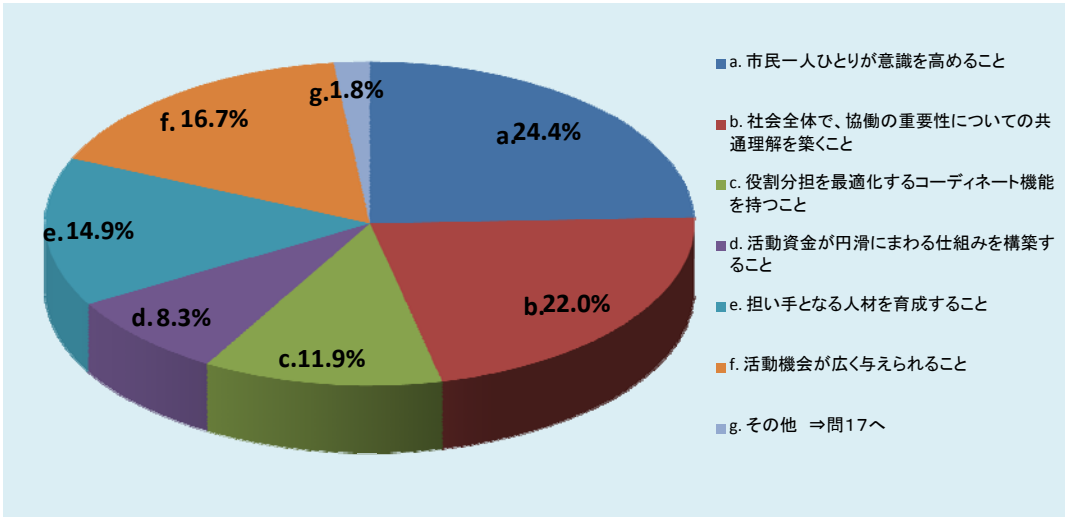
【全ての方にお尋ねします】

問14 次の分野で、これからさらに市民協働に基づく取り組みが必要になるとと思われるものは何ですか。次の中から当てはまるものを3つまでお選びください。



	人数
a. 保健・医療・福祉	39.3% 66
b. 社会教育(学校以外の場での学び等)	20.8% 35
c. まちづくり	41.1% 69
d. 観光	12.5% 21
e. 農村・山村・漁村	3.6% 6
f. 学術・文化・芸術・スポーツ	8.3% 14
g. 環境の保全	13.7% 23
h. 防災・災害救援	35.7% 60
i. 防犯・地域安全	41.7% 70
j. 人権・平和	2.4% 4
k. 国際協力	3.6% 6
l. 男女共同参画	1.8% 3
m. 子どもの健全育成	25.6% 43
n. 情報化社会(情報に関する技術を一般的に誰もが活用しやすくする取り組み等)	7.7% 13
o. 科学技術	0.6% 1
p. 経済	1.2% 2
q. 雇用・労働	9.5% 16
r. 消費者保護	4.2% 7
s. 中間支援(市民活動団体に対して、相談対応や情報・資金面等での支援)	5.4% 9
t. その他 ⇒問15へ	1.2% 2

問16 今後、市民、市民活動団体、企業、行政などが、それぞれの役割を持って市民協働を進めるために、特に重要なことは何だと思いますか。次の中から当てはまるものを1つお選びください。



	人数	
a. 市民一人ひとりが意識を高めること	24.4%	41
b. 社会全体で、協働の重要性についての共通理解を築くこと	22.0%	37
c. 役割分担を最適化するコーディネート機能を持つこと	11.9%	20
d. 活動資金が円滑にまわる仕組みを構築すること	8.3%	14
e. 担い手となる人材を育成すること	14.9%	25
f. 活動機会が広く与えられること	16.7%	28
g. その他 ⇒問17へ	1.8%	3
計	100%	168